

ビッグディスクローターキット 取扱説明書

製品番号 06-08-0175

適応車種 CT125 (JA55-1000001 ~)
(JA65-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎当製品の取り付け作業の際は、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に行って下さい。

◎ディスクローターの交換は有資格者の分解整備作業にあたる為、整備士資格の持った方が作業を行って下さい。

◎ディスクローターの使用限度は、厚み 3.0mm です。それ以下の厚みで使用されますと大変危険ですので、早急に新品に交換して下さい。

◎各ボルトに少しでも異常が見られる場合は必ず新品に交換してから取り付けを行って下さい。

◎新品状態でのハードブレーキ操作は行わないで下さい。最初は軽いブレーキ操作で徐々にディスクローターとブレーキパッドになじみ（当たり）を付け、一旦ディスクローターとブレーキパッドの温度を冷まします。ディスクローターとブレーキパッドになじみ（当たり）が付くまでこの操作を繰り返し行って下さい。

またブレーキは冷間時、効きが悪く適切な温度まで上昇しなければ安定した制動力を発揮しません。十分注意してご使用下さい。

◎アルマイト製品は経年変化により色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

◎当製品を取り付ける事により制動力が純正時より強化される為、ABS 装置が介入し易くなります。予めご了承下さい。

また、ABS 装置の取り外し及びキャンセルは不正改造となり、取り締まりの対象となります。

～特 徴～

○ノーマルフロントキャリアパーで使用可能なビッグディスクローターキットです。

○有効径を約 25% 向上し、ノーマルキャリアパー・ノーマルブレーキパッドのままで制動力が強化されます。

○ディスクは大型化しながらもトレッキングイメージに沿う軽快で大胆な肉抜き加工を施しています。

○キャリアパーブラケットは軽量かつ丈夫な超々ジュラルミン材を精巧に削り出し、アルマイト処理によって耐食性、強度と共に外観のカスタムイメージを高めます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

（部品の脱落の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

■ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合、パッドは交換しディスクローターは脱脂する事。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

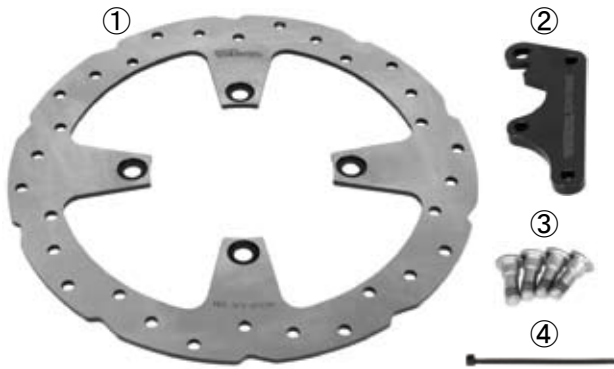
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ディスクローター	1	00-06-0219
2	キャリパーブラケット	1	00-06-0220
3	ボルト, ブレーキディスク 8x24	4	00-06-0214 (4 ケ入り)
4	結束バンド 80mm	1	00-00-2892 (10 ケ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。

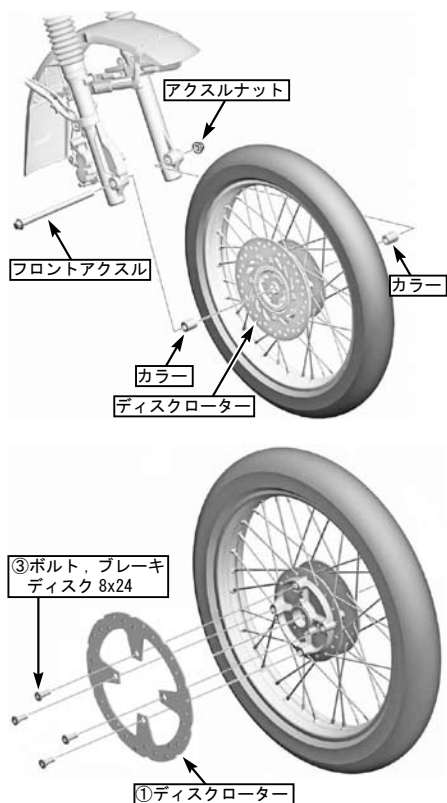
品番発注でない場合、受注出来ない場合があります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

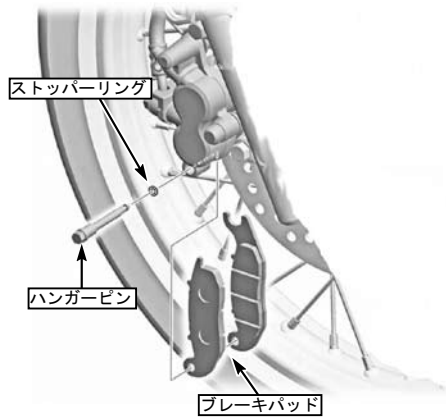
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- アクスルナットを緩めます。
 - 水平な場所でメンテナンススタンドまたはメインスタンドを立て、ジャッキなどを使用してフロントホイールを浮かせます。
 - アクスルナット、フロントアクスルを外してからフロントホイールとカラーを外します。
 - フロントホイールからディスクローターボルト、ディスクローターを取り外し、①ディスクローターをレーザーマーキングがある面を外側に向けて取り付け、③ボルト、ブレーキディスク 8x24 で締め付けます。
- この時、ボルトは徐々に締め、座当たりしたら対角線で規定トルクにて締め付けます。

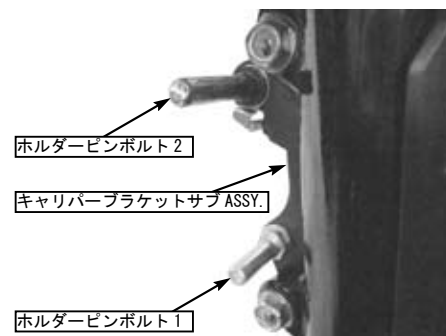
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト, ブレーキディスク 8x24
トルク：42N・m (4.28kgf・m)



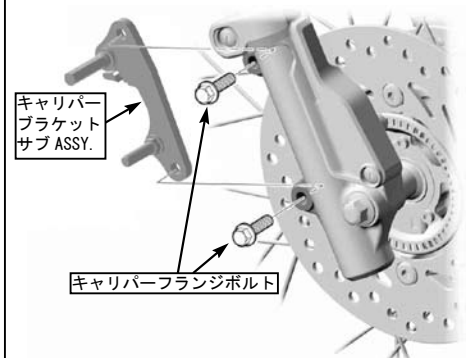
- ブレーキキャリパーからハンガーピンとストッパーリングを取り外し、ブレーキパッドを取り外します。



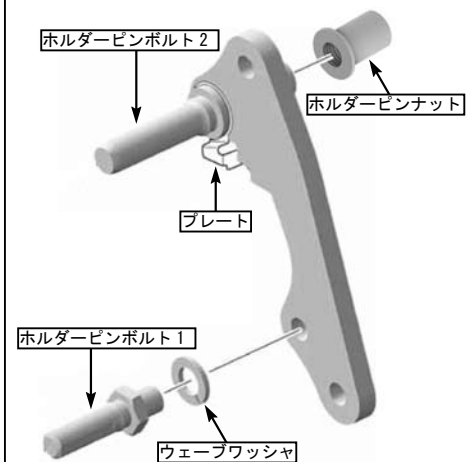
- キャリパーブラケットサブ ASSY. を残し、ブレーキキャリパーを取り外します。
- ホルダーピンボルト 1 を緩めます。
- キャリパーブラケットサブ ASSY. のホルダーピンボルト 2 の裏側にあるホルダーピンナットを緩めます。



- キャリパーフランジボルトを取り外して、キャリパーブラケットサブ ASSY. をフロントフォークから取り外します。



- 純正キャリパーブラケットからホルダーピンナット、ホルダーピンボルト 2、プレート、ホルダーピンボルト 1、ウェーブワッシャを取り外します。

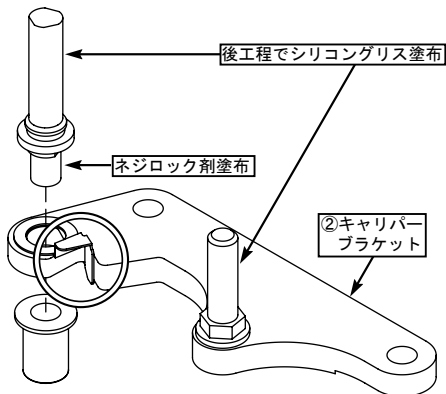


○取り外したホルダーピンナット、ホルターピンボルト2、プレート、ホルダーピンボルト1、ウェーブワッシャを②キャリパーブラケットに付け替え仮締めを行います。
ホルターピンボルト2にはネジロック剤を塗布します。

推奨ネジロック剤

スリーボンド：1360 相当品

プレートは下図のようにブラケットの角部分にプレートの平面部を当てるようにして下さい。



○キャリパーフランジボルトにネジロック剤を塗布します。
キャリパーフランジボルトを使用し、フロントフォークにレーザーマーキングを外側に向けて②キャリパーブラケットを取り付けます。

推奨ネジロック剤

スリーボンド：1360 相当品

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

キャリパーフランジボルト

トルク：30N・m (3.05kgf・m)

○ホルダーピンボルト1、ホルダーピンナットを②キャリパーブラケットに規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

ホルダーピンボルト1

トルク：17N・m (1.73kgf・m)

ホルダーピンナット

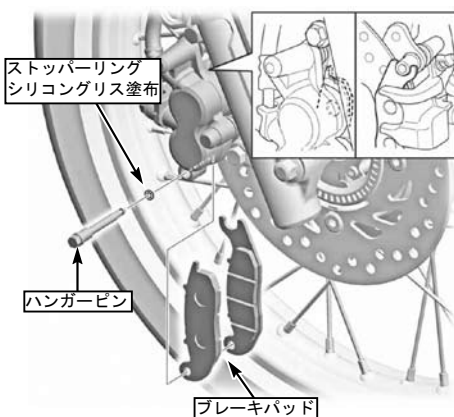
トルク：22.1N・m (2.25kgf・m)

○ホルターピンボルト1、ホルターピンボルト2にシリコングリスを0.4g以上塗布します。
ストッパーリングにシリコングリスを塗布し、②キャリパーブラケットにブレーキキャリパーを取り付け、ブレーキパッド、ハンガーピンを取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

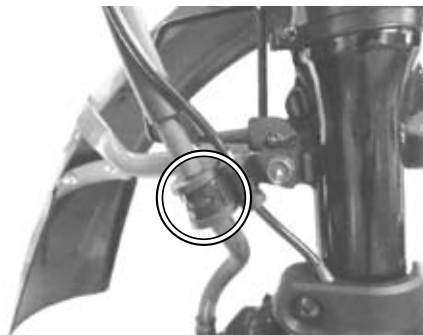
ハンガーピン

トルク：17N・m (1.73kgf・m)



○ブレーキキャリパーに近いクランプグロメットとフロントブレーキホースの接着を外します。
キャリパー周辺やフェンダー周辺とフロントホイールスピードセンサーワイヤーを養生して、火傷に注意しながら90℃から100℃の湯をクランプグロメット接着部分にかけて接着を外して下さい。接着が外れましたら水気を拭き取り、ブレーキホースを折れ曲がりや負荷の無いように調整して下さい。

⚠ 注意：火傷には十分注意して作業を行う事。

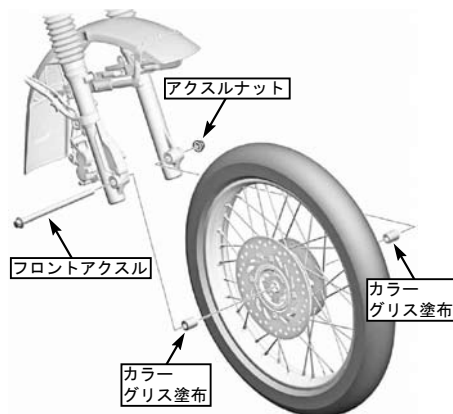


○カラーはフロントホイールダストシールリップ部に位置する部分にグリス塗布を行い、フロントフォークに取り外しと逆手順で取り付け、フロントフォークを浮かせていたジャッキ等を解除してアクスルナットを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

アクスルナット

トルク：59N・m (6.0kgf・m)



○④結束バンド80mmで写真を参考に、フロントブレーキホースに圧がかからない程度にクラブ部に束ねて下さい。

※写真は分かりやすいよう白色の結束バンドを使用しています。当製品同梱の結束バンドは黒色です。

